

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年1月28日～2017年2月3日の推移】

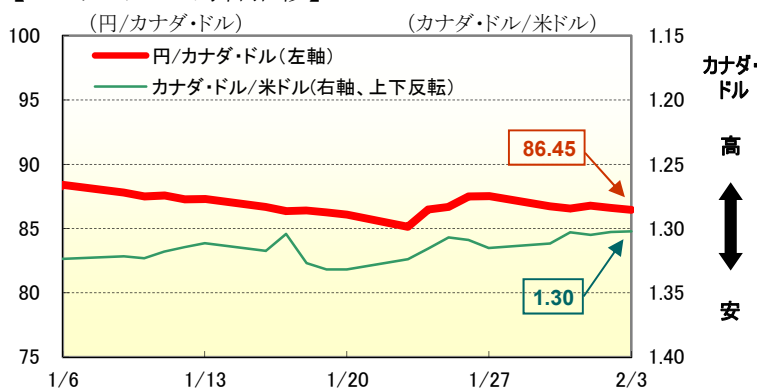
【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は下落、カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国のトランプ大統領による難民・移民の入国規制強化に加え、日本や中国などに対する通貨安批判が懸念材料となり、円高とともに市場のリスク回避姿勢が強まったことで、金利は低下し、カナダ・ドル円相場は下落しました。米国の雇用統計は賃金の伸びが市場予想を下回ったことで、金利の低下材料となりましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官が利上げに前向きな姿勢を示したことは、金利の上昇材料となりました。

また、カナダのGDP（国内総生産）は市場予想を上回る堅調な結果となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】（2017年1月6日～2017年2月3日）



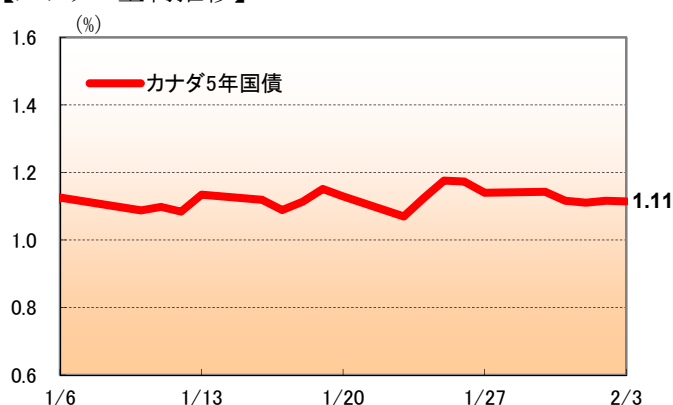
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、日米首脳会談が注目材料です。米国は保護主義的な姿勢を強めており、トランプ大統領による円安けん制姿勢への思惑は為替市場を動かす要因になりそうです。

カナダでは、貿易収支や雇用者数などの経済指標が発表予定で、前月に続き、堅調な数字が確認できるか注目です。また、FRB高官の講演も控えており、今後の利上げに関する発言に注目が集まるとみています。

【カナダ 金利推移】（2017年1月6日～2017年2月3日）



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ
1/31	毎月	2016年11月	GDP(前月比)	0.4%
1/31	毎月	2016年11月	GDP(前年同月比)	1.6%
2/7	毎月	2016年12月	貿易収支(実額)	-
2/10	毎月	2017年1月	雇用者数(前月差)	-

(参考)前回
-0.2%
1.6%
5.3億カナダ・ドル
46.1千人

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>